









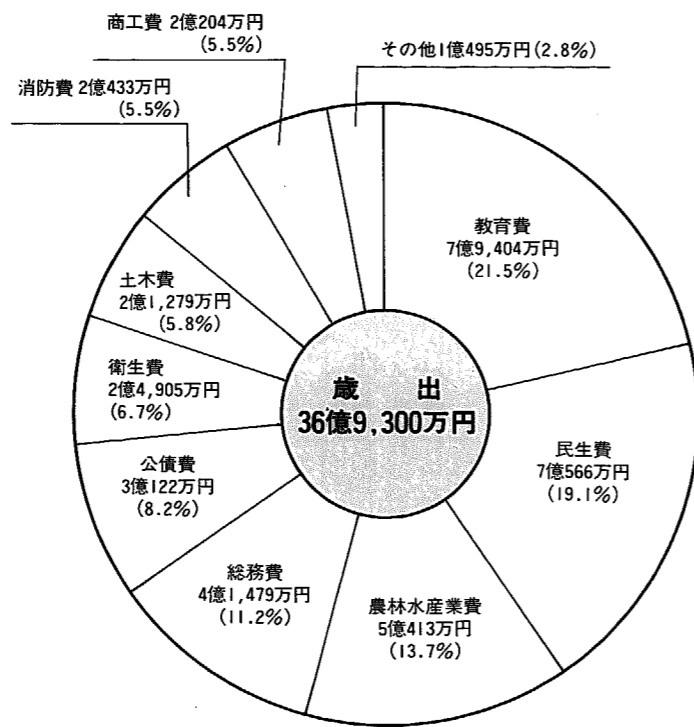


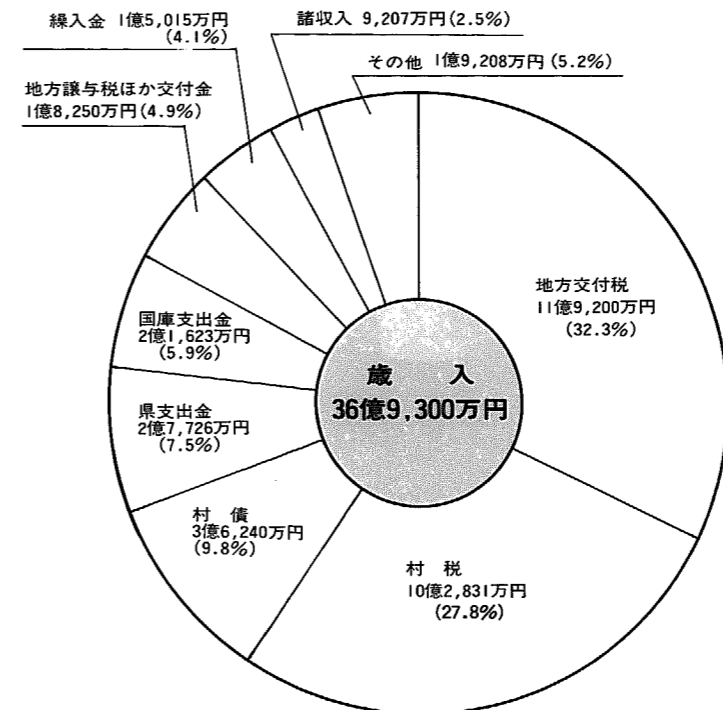
<b>村民一人当たり 365,137円</b> (3月1日現在 人口10,114人)	
衛生費 24,624円 	教育費 78,509円 
土木費 21,039円 	民生費 69,771円 
消防費 20,203円 	農林水産業費 49,845円 
商工費 19,976円 	総務費 41,011円 
その他 10,377円 	公債費 29,782円 



ことしの村づくりに使う予算——平成九年度一般会計予算が、三月十一日から開催された村議会「第一回定例会」で承認されました。この一般会計予算とは、村民の皆さんからいただいた村税や国・県からの補助金などを、村がどのように使うか決めたもので、ことしの村づくりの基本となるものです。

平成九年度の予算総額は三十六億九千三百万円で、前年度(三十四億七千万円)と比較すると二億二千三百万円の増となりますが、これは「図書館建設事業」などによるものです。

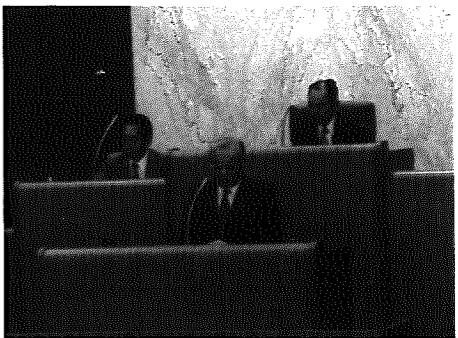
今年度の予算編成にあたっては、引き続き財政の簡素合理化に努めながら、限られた財源の重点的・効率的な配分に徹し、村民サービス向上と村勢の発展を図ります。村民の皆さんには、予算内容についてもピンとこない数字ばかりでしょうが、皆さんからいただいた税金などがどんなところに役立てられているのか、ぜひご覧ください。



# 平成九年度の 村づくりに使うお金 三十六億九千三百万円

平成九年度一般会計予算の内訳

## 施政方針 の概要



本日ここに、平成九年岩室村議会第一回定例会を招集し、平成九年度予算並びに諸案件をご審議願うにあたり、施政方針の概要を申し上げ、村議会をはじめ村民各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

はじめに、平成八年度着手いたしました村立図書館建築工事は、予定通りの工程で進捗し、本体棟五割相当分が完成見込みとなっております。また、昨年オープンいたしましたデイサービスセンターにつきましても、運営も軌道にのり登録老人数も七十名を超え、毎日十名程のご利用をいただき好評

をいただいております。

その他予定いたしました事業につきましても、予定通りの成果を得ましたことは、誠に同慶にたえないところであります。

これも議会をはじめ、各種団体機関の関係者並びに村民各位の深いご理解とご協力の賜と、先ずもって衷心より感謝申し上げます。

さて、わが国は二十一世紀を目前に控え、国・県を通じて本格的な少子・高齢社会の到来、経済環境の急激な変化、高度情報化や国際化の進展等多様な行政ニーズに対して、それぞれの地域がそれぞれの特性を活かして持続的な発展を図るため、弾力的に対応していかなければならない行政課題が山積しております。また、地方分権の流れの中で、自治体機能の充実強化のもと、権限移譲も進められております。

本村といたしましては「行政改革」を推進し、併せて定員管理適正化計画等により、中長期的な観点に立った、行政運営の効率化と財政構造の健全化を図りながら、行政課題に計画的かつ弾力的に対応していかねばなりません。

政府は昨年十二月十九日、平成九年度予算編成方針を閣議決定いたしましたところであり、それによれば、平成九年度の国の予算及び財政投融资計画は、財政構造改革に取り組むことが緊急の課題と